



周 英明 先生を偲んで

本学会の前身である社団法人日本プリント回路学会（回路実装学会）の理事・副会長・会長を歴任され、また本学会の理事・副会長も務められた周英明先生（東京理科大学名誉教授）が平成18年11月9日にご逝去されました。満73歳でした。

周英明先生は昭和8年7月30日に福岡でお生まれになり、その後台湾に渡られ、昭和31年6月に台湾大学電機科をご卒業され、台湾空軍電子通信学校、台湾大学助手を経て、昭和36年4月に留学のため再来日されました。昭和39年4月に東京大学大学院工学系研究科電子工学専攻修士課程を修了、昭和43年3月には同専攻博士課程を修了され、工学博士とられました。

同年4月には東京理科大学講師として野田キャンパスに奉職され、その後、助教授、教授を経て、研究科長などの要職を歴任されました。東京理科大学在職中は、「電子管工学」や「マイクロ波工学」などの講義を担当され、目に見えない電子や電磁波の振る舞いを身振り・手振りも交えて、わかりやすく平易に講義され、多くの学生を電磁波の世界に引き込み、多くの卒業生を技術者・研究者として社会に送り出しました。わたくしも周英明先生から薫陶を受けた学生の一人であり、わたくしが大学人として今日あるのも周英明先生からご指導いただいたお陰であり、感謝に絶えません。

周英明先生は、冒頭にてご紹介したように、本学会の前身である社団法人日本プリント回路学会（回路実

装学会）副会長を平成7年4月から平成8年3月まで、会長を平成8年4月から平成10年3月まで、また平成10年4月に社団法人日本プリント回路学会（回路実装学会）と社団法人ハイブリッドマイクロエレクトロニクス協会（エレクトロニクス実装技術協会）の合併により発足した現・社団法人エレクトロニクス実装学会の副会長を平成10年4月から平成11年3月まで歴任されました。このように、歴史もカルチャーも異なる二つの学会の合併前後の大変な時期に副会長および会長の要職を歴任され、合併の大事業を成し遂げ、本学会発展のために多大な業績を残されました。平成12年5月には、これらの業績を称え、本学会「功績賞」が贈呈されました。

以上のように、周英明先生は、多くの研究者、技術者、学会員、学生に対し、たくさんの薫陶と感銘を与え、また、本学会および関連産業分野に多大の貢献をし、それらの発展に尽力されてきました。周英明先生がご逝去されたことは、本学会においても、関連産業分野においても大きな損失であります。わたくしは、生前に交流のあった方々が今後ますます活躍・発展されることが周英明先生から賜ったご厚誼に対する一番の恩返しであり、謝意であると信じています。末筆ではありますが、周英明先生から賜ったご指導・薫陶に対し深甚なる感謝の意を表するとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

越地耕二（東京理科大学）